

# 経営後継者研修だより

4月のトピック 利益資金計画と第二創業について、グループでの本格的な演習を行いました。

4月に入り、第41期経営後継者研修の自社分析最後のテーマ「第二創業プラン策定」が始まりました。研修生はこれまでの自社分析の結果を踏まえ、新たな企業成長の方向性を模索します。自社の第二創業を考える前段階として、研修生は4つの班に分かれて新規ビジネスプラン策定の練習を行いました。今月は「第二創業プラン策定」、そして先月から始まった「自社利益・資金計画策定」の演習の感想について、広報委員の2名に伺いました。

## 財務総合演習

財務総合演習では、ある架空の企業をモデルとして、その経営方針を作成するという実習を行った。これまであまり意識したことがない業界であり、業界特有の設備投資をしなければならないルールだったため、演習開始当初は戸惑いがあった。土地と建物の両方を購入するか、どちらかだけ購入するか、それとも両方リースにするかを選択し、それぞれのイニシャルコストとランニングコストを試算した。また新規事業に必要な両コストも計算したが、このような試みは初めてで、事業立ち上げがどれほど困難かを感じることができた。【長門小野田レミコン株式会社 中原一樹】

## 新規事業プラン策定演習

新規事業プラン策定では、班の中で行う事業を決定し、その事業の理念、アクションプラン、利益資金計画などを立てていく実習でした。班の中で役割分担して、一つの事業の実現を目指す中で、気付きが何点ありました。その中でも重要だと感じた点は企業の理念に賛同してくれる人材を選ぶ事でした。従業員が企業の理念に賛同してくれ、企業が理念に基づいた事業展開を行っていけば、企業と従業員の間で方向性のミスマッチが起こりづらいと感じました。

【コトブキテクレックス株式会社 松本麟】



講義の様子



## INFORMATION 東京校 企業研修課からのお知らせ

### 第43期経営後継者研修について

2021年9月に募集開始予定です。完成次第、募集関係資料送付をご希望される方は以下のフォームからその旨ご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

<https://www.smrj.go.jp/contact/tokyo/index.php>